

# 山梨県立博物館

Yamanashi Prefectural Museum

交

い 

かいじあむ通信

kai

第52号

2020年9月11日発行  
山梨県立博物館

「暴瀉病流行日記」(1858年)  
より ヨゲンノトリ



# かいじあむ 15年のあゆみ

これまでの博物館の主な展覧会や出来事を年表にしました。

● 企画展 ● シンボル展

平成17年 2005  
10月15日 山梨県立博物館開館



開館企画展！  
やまなしの道祖神祭り



平成18年 2006  
7月8日 利用者 10万人達成

開館記念特別展！！  
よみがえる 武田信玄の世界

開館1周年記念特別展★  
祈りのかたち—甲斐の信仰—

平成19年 2007  
5月28日 県立博物館が建築作品コンクール一般建築第二類部門最優秀賞受賞

7月20日 秋篠宮殿下・同妃殿下・眞子内親王殿下御来館

歌川広重の甲州日記  
—幻のスケッチブック再発見！ 166年ぶりに甲斐の国に—

「米キタ」「アスヤル」—明治四十年の大水害から百年—

平成20年 2008  
火曜日休館開始

12月18日 大韓民国 国立清州博物館と学術交流協定締結

甲州食べもの紀行  
—山国の豊かな食文化—



平成21年 2009  
10月20日 文部科学省より学術研究機関指定を受ける

新指定文化財展！  
甲斐の国のたからもの



平成22年 2010  
2月13日 利用者 50万人達成



消えた「おかぶと」  
—節供人形カナカンブツの謎を追う—

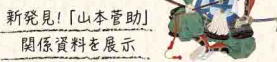


平成23年 2011  
10月12日 笛吹市と連携協定締結

東日本大震災被災地へ職員派遣



実在した山本菅助



平成24年 2012  
7月2日 文化庁より公開承認施設に認定

やまなしの森と人—百年のあゆみ—



柳沢吉保と甲府城



おふどうと名乗った家 豪商大木家の350年

クニマスは生きていた—山梨おさかな発見物語—

西湖で再発見されたクニマスを紹介

平成25年 2013  
1月12日～11月10日 第28回国民文化祭開催

平成26年 2014  
2月15日～17日、19日 大雪のため臨時休館  
6月25日 公式 Facebook・Twitter 開始  
11月15日 入館 100万人達成



平成27年 2015  
10月23日 開館 10周年記念式典開催

平成28年 2016  
5月18日 新パスポートのデザインに、当館所蔵の「富嶽三十六景」採用



平成29年 2017  
10月6日～11月20日 「和歌刻書土器」特別展示

平成30年 2018  
10月26日 長野県立歴史館と連携協定締結



令和元年 2019  
2月22日 「富嶽三十六景」高精細レプリカ寄贈



令和2年 2020  
2月28日～ 新型コロナウイルス流行のため、展示観覧・資料閲覧業務中止  
4月 「ヨゲンノトリ」が話題になる  
5月22日～ 展示観覧業務再開

北斎の富嶽三十六景



山梨の名宝

甲斐の黒駒—歴史を動かした馬たち—



鶺鴒 甲斐の川漁と鶺鴒をめぐる伝説

大化石展 山梨に恐竜はいたか!?

企画展利用者 6万人！  
新記録達成！

開館 10周年！  
富士山—信仰と芸術—

富士山学術調査研究の成果反映

武田二十四将 —信玄を支えた家臣たちの姿—



葡萄と葡萄酒



地下鉄 90年—早川徳次、東京の地下を拓く—

甲府徳川家—六代将軍家宣を生んだ知られざる名門—



山梨の明治—新しい時代の幕開け—

文字が語る 古代甲斐国

県都甲府の 500年



法然上人絵伝—親鸞が追い求めた師の姿—

開館 15周年！  
浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼・驚異の筆—

開催中止。「おうちで『北斎漫画』」を公開

山梨県立博物館は皆様とともにあゆんでいきます。  
これからもどうぞよろしくお願いいたします。



# 学芸員 おすすめの一品

収蔵資料の見どころを  
ご紹介します。

芳年の幕絵 ここに見参！

## 「甲府道祖神祭幕絵」

たいこうき さくまもりまさ はしばひでよし ねら  
**太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ**

つきおかよしとし  
月岡芳年筆 元治元年（1864）頃

甲府道祖神祭りは何百枚という幕絵を町中に張り巡らせ、大変華やかだったといえます。幕絵を描くため、有名な絵師が何人も招かれており、本資料を描いた芳年もそのひとりでした。

この期間に  
会える！  
10月24日～  
12月7日

開館15周年記念特別展

未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの  
～新指定文化財・収蔵品展～

## 緊迫の一瞬！

しずがたけ  
賤ヶ岳で佐久間盛政と羽柴秀吉が対峙する  
場面が大きな麻布に描かれています。甲府  
柳町四丁目を飾っていた幕絵のひとつです。

## 芳年って誰？

江戸から明治にかけて活躍した浮世絵  
師です。武者絵から美人画まで、多く  
の作品を残しました。山梨を少なくとも  
2度訪れていることがわかっています。



佐久間盛政

羽柴秀吉

縦 195cm、全長 900cm

## 幕絵のその後…

たくさん描かれた幕絵も、明治5年（1872）に甲府道祖神祭りが廃絶した後は、風呂敷や商家の日除けなどに転用され失われてしまいました。確認されている幕絵は現在3枚のみ。本資料はそのうちのひとつです。

## 県博資料の仲間入り

令和元年（2019）に専門の先生方に審議していただき、芳年の幕絵はめでたく当館資料の仲間入りを果たしました。これにより、現存幕絵3枚がすべて山梨県立博物館の所蔵になりました。



幕絵審議の様子

祭りの廃止や戦禍を免れ、  
143年の眠りから覚めた

## 「四神の飾り」

江戸時代後期か

常設展

「道がっなく出会い」

この期間に  
会える！  
12月16日～  
2月15日

甲府市の商家から平成27年（2015）に発見された四神の飾りで、江戸時代に柳町二丁目の道祖神祭りで使用されたと考えられます。祭りでは道路沿いに仮設神殿を設け、その前に四神幟を立てました。これらは、その上部に取り付けたものでしょう。それぞれの顔だけは、威厳を備えつつユーモラスでもあります。白虎や玄武は、下から見上げると目が合い、高いところに飾られていたことを裏付けています。



ムカシはヒゲも  
植えられていたのじや

マンガみたいな  
顔って言わないで

蛇と亀、いつも一緒！  
好んぶ  
玄武さん

口を大きく開けてまして…  
アゴが外れそうです

我々は美しく彩られ、  
目は水晶製である。  
道祖神祭りでは、左右を見れば  
幕絵が飾られ、神殿の前では  
我々が往来を見据えておった。  
祭りを盛り上げたのは  
幕絵だけではないぞ！

筋骨隆々！猫背じゃないよ…  
びゃつて  
白虎さん

朱色の羽が美しい！  
すざく  
朱雀さん

長い尾羽とリアルな  
足がチャームポイント

蒼と緋の  
コントラストが素敵！  
せいりゅう  
青龍さん

常設展  
テーマ展示

県立博物館では、約2か月ごとにテーマを変えて、常設展の展示替えをしています。

「ようこそ!かいじあむ動物ワールドへ」

2020.8.19[水]~10.12[月]

かつて人々は多くの「生き物」や「化け物」と一緒に暮らしていました。資料や作品に隠された彼らを探してみましょ。

「やまなしの豊かな食文化」

2020.10.14[水]~12.14[月]

食欲の秋到来!特産品のフルーツやワイン、海はないけど海産物が好きな食文化など、山梨ならではの「食」に関連した展示で皆様をお待ちしています。

「年の初めはかいじあむ」

2020.12.16[水]~2021.2.15[月]

お正月にちなみ、「めでたい」「ありがたい」資料を取りそろえました。年の初めは博物館で招福!

2020年度  
企画展  
シンボル展

開館15周年記念特別展 2020.10.24[土]~12.7[月]

未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの ~新指定文化財・収蔵品展~

近年文化財指定を受けた資料を中心に、新たな「県民の宝」を一挙に公開し、「郷土やまなし」が育んできた豊かな文化と、それを引き継いできた人々の思いをお伝えいたします。さらに、開館15周年を迎える博物館が収集してきた資料についても新たな魅力を発信します。



武田勝頼書状(当館蔵)

シンボル展 2021.1.2[土]~2.23[火・祝]

強請祈願とやまなしの雨乞い

民間信仰には、神仏に身体的・精神的苦痛を与え、その解放と引換えに願いを叶えさせる祈願方法があります。山梨では、雨乞いの時にこの方法が用いられてきました。本展では山梨で行われてきた雨乞い習俗を紹介し、神仏と人、自然との関係性を読み解いていきます。



雨乞いの仏像(清水寺蔵)

開館15周年記念特別展 2021.3.13[土]~5.10[月]

生誕500年 武田信玄の生涯

郷土の英雄として現在も様々な形で語り継がれる武田信玄(1521~73)は、2021年に生誕500年を迎えます。本展では信玄の生涯について、年代順に関連資料を紹介してその業績を振り返るとともに、一族や家臣団、信玄が生きた戦国時代の社会、信玄と争った戦国大名らについて総合的に紹介します。



武田信玄像(当館蔵)

イベントのご案内 2020.10月~2021.3月

常設展スルーガイド

常設展のガイドツアーです。

毎週土曜日 11:00~11:30 定員 先着10名

館長トーク

令和2年度の開催は中止となりました。

かいじあむ古文書講座

令和2年度の開催は中止となりました。

\*ご自宅で学習できるダウンロード教材を、当館ホームページにて公開中です。

かいじあむ子ども工房

博物館ならではの体験や工作ができます。

開催日 10/10、11/14、1/9、2/13、3/13

お申込みが  
必要です

遊ぼう!学ぼう!寺子屋ひろば

展示や歴史を楽しみながら学べる体験イベントです。

毎週日曜日 11:00~11:30 定員 先着10名

ボランティアによるお庭の見どころガイド

四季折々の博物館の庭を散策します。

開催日 10/17、11/21、12/19、1/16、2/20、3/20

時間 13:30~14:30 定員 先着10名

古文書相談日

令和2年度の開催は中止となりました。

\*古文書についてのご相談を、メール・郵送で受け付けます。詳細は、当館ホームページをご覧ください。

その他イベント \*イベント毎に内容は異なります。

- ・かいじあむの秋まつり 11/20(県民の日)
- ・かいじあむのお正月 1/2・3

2020年

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの 10/24~12/7

2021年

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

強請祈願とやまなしの雨乞い 1/2~2/23

生誕500年 武田信玄の生涯 3/13~5/10

- 休館日
- 子ども工房
- お庭の見どころガイド
- その他イベント

各イベントの詳細は当館ホームページなどでご確認ください。日程や内容は事情により変更になることがあります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示・イベント等の日程が変更または中止になる場合があります。



山梨県立博物館の旬な話題をお届け！

# かいじあむトピックス

## 新型コロナウイルス感染症流行下の博物館

新型コロナウイルス感染症の流行で、世界中の人々の生活が大きく変わりましたが、当館でも2020年2月末から5月下旬まで、開館以来はじめての長期展示室閉鎖となりました。現在は検温の実施やタッチパネルなどの人が触れる展示の中止をはじめとした、感染症拡大防止対策を行いながら開館しております。展覧会やイベント、講座など中止となったものもありますが、ホームページやSNSで「おうちで展覧会」・「おうちで古文書講座」など、自宅でも楽しめるコンテンツを公開しています。また、私たちがどのように感染症と向き合ったかを未来へ伝えるため、感染症に関わる資料の収集も始めました。社会のなかでの博物館の使命を改めて確認しつつ、感染症流行のなかで博物館ができることを模索し、随時対応してまいります。



感染症対策を行ってお迎えしております

## ヨゲンノトリ大人気

当館所蔵の江戸時代の日記<sup>ぼうしやびょうりゅうこうにつき</sup>「暴瀉病流行日記」に描かれた黒と白の2つの頭を持つ不思議な鳥“ヨゲンノトリ”が、病気から人々を救う存在として注目されています。ヨゲンノトリは、コレラの流行と多くの人が亡くなることを予言し、「我らの姿を朝夕に仰ぎ、信心する者は必ずその難を逃れることができる」と語ったそうです。江戸時代に病気に苦しむ人々が生み出したヨゲンノトリですが、時を超え、再び人々の心のよりどころとなっています。



博物館に届けられたヨゲンノトリグッズ（一部）

## 利用案内

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日)

\*9/16～18、12/12、12/27～1/1、1/13・14は休館。

観覧料 常設展：一般520円、大学生220円

\*高校生以下の方、65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)は無料です。

\*企画展には別途観覧料が必要です。県外在住の65歳以上の方は企画展観覧料が必要です。

かいじあむ通信「交い」第52号 〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

Tel:055-261-2631 Fax:055-261-2632

発行日:2020年9月11日

E-mail:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp

編集・発行:山梨県立博物館

URL:http://www.museum.pref.yamanashi.jp



ホームページQRコード



山梨県の古い国名「甲斐国」の語源は街道と街道の結節点を意味する「交(かい)」であるという説があります。山梨県立博物館が「甲斐」の博物館にふさわしく、人々や情報の交流の拠点となることを願ってこの名前をつけました。